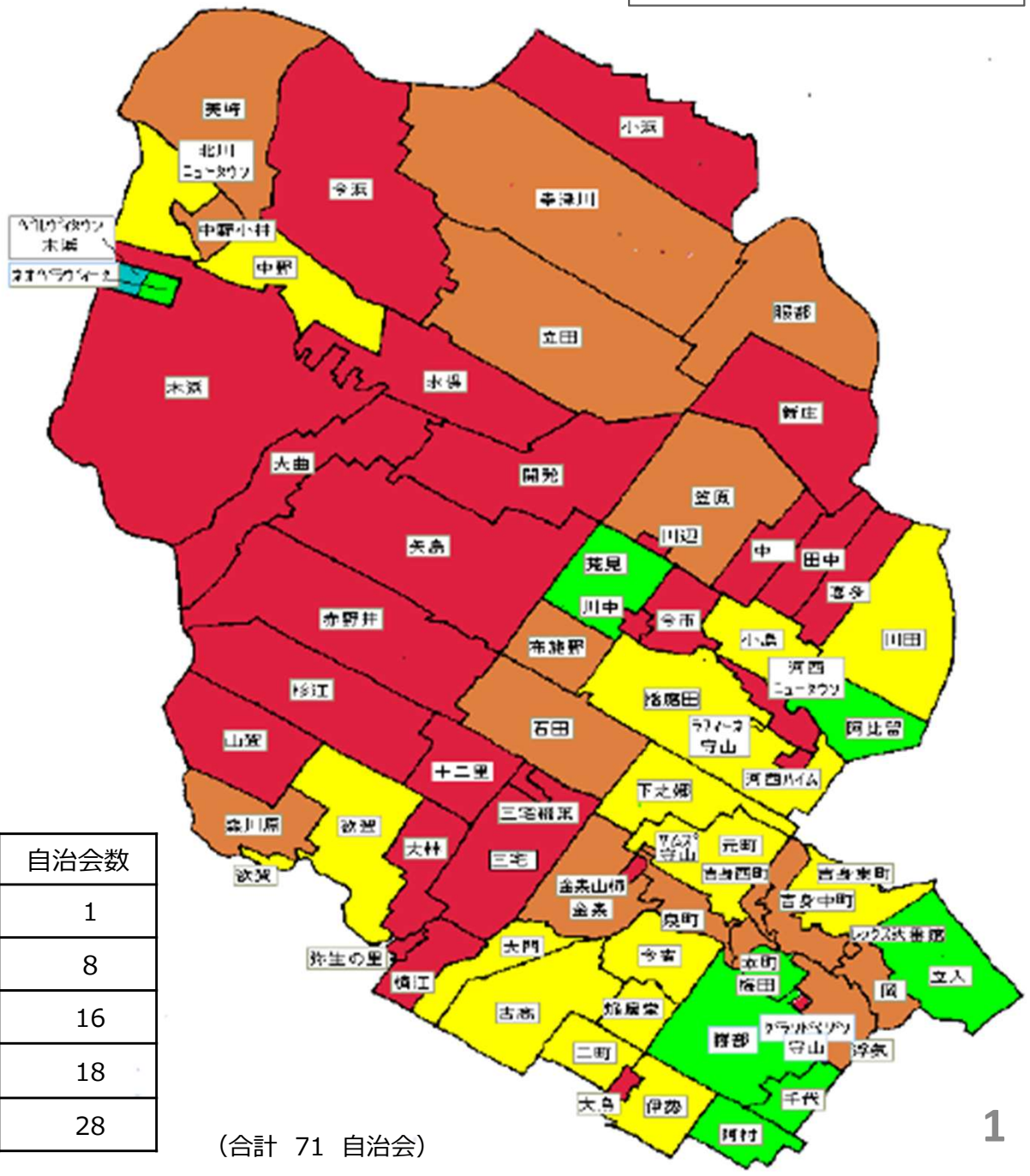
守山市の人口および高齢化率

資料１-１

令和４年９月末日現在	人数･率
総人口	**85,539 人**
65歳以上人口	**18,915人**
高齢化率	**22.1%**
高齢化率（全国）※	28.87%
高齢化率（滋賀県）※	26.45%
世帯数	34,017世帯

2025年(令和７年)推計	人数･率
総人口	86,328人
65歳以上人口	19,344人
高齢化率	**22.4%**

※全国、滋賀県の高齢化率：
令和４年１月現在の概算値



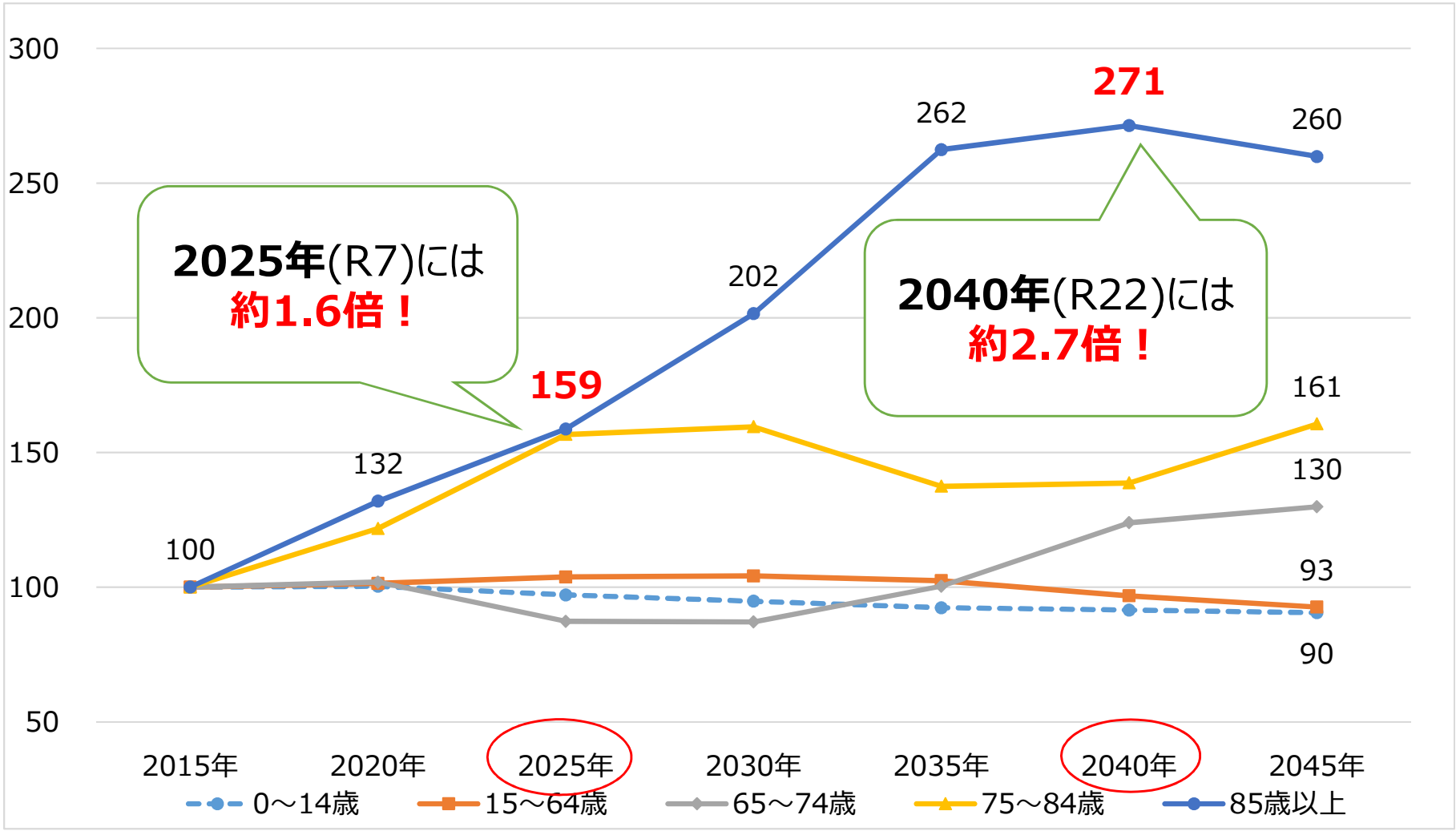
凡例	自治会数
7%未満	1
7%以上（高齢化社会）	8
14%以上（高齢社会）	16
21%以上（超高齢社会）	18
31%以上	28

（合計　71　自治会）

守山市の人口推計

【　2015年(H27)を100とした場合の2045年(R27)までの人口推計　】

2015年(H27)を100とした場合、2040年(R22)には85歳以上の人は271/100（＝約2.7倍）となります。
一方で、０歳～14歳、15歳～64歳までの人口は90/100となり、人口が減少することが予測されています。



※国立社会保障・人口問題研究所HP「日本の地域別将来推計人口（平成30年（2018）年推計）」より

2025年に向けた地域包括支援センターの機能強化

北部地区地域包括支援センター　H28.10開所
北公民館内　委託先：社会福祉法人慈恵会

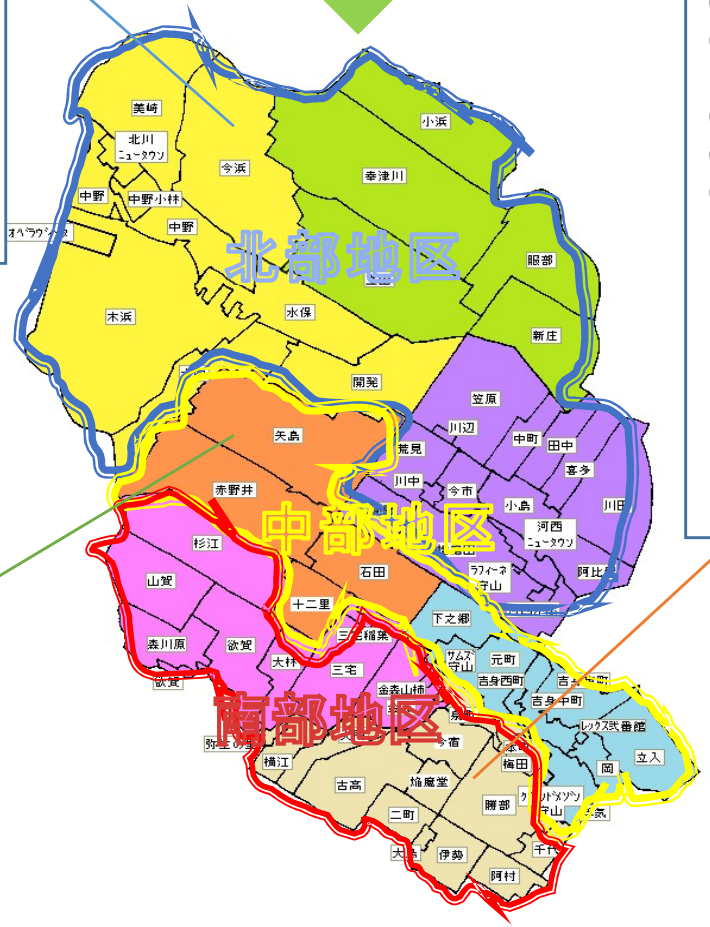
○北部地区（河西･速野･中洲）人口　29,955人
○高齢者人口　7,441人　高齢化率24.8%
（前期：3,740人　後期：3,701人）
○要支援者数：302人　※事業対象者含む
○要介護者数：947人
○2025年における見込み
高齢化率25.2%
1人暮らし高齢者数　826人
高齢者のみ世帯数　2,012世帯
■３圏域中最も高い高齢化率、最も多い要介護者数、後期高齢者数であり、“介護予防”と疾患の発症･重症化予防を目的とした“保健事業”を一体的に進めていくことが必要。

中部地区地域包括支援センター　R3.４開所
すこやかセンター内（２階）
委託先：社会福祉法人守山市社会福祉協議会

中部地区（吉身･玉津）　人口　21,835 人
○高齢者人口　5,007人　高齢化率22.9%
（前期：2,514人　後期：2,493人）
○要支援者数：213人　※事業対象者含む
○要介護者数：661人
○2025年における見込み
高齢化率23.2%
1人暮らし高齢者数　645人
高齢者のみ世帯数　1,560世帯
■３圏域中、高齢者人口、後期高齢者人口、高齢者のみ世帯数は最も少ない。今後の介護予防活動が重要。

基幹型地域包括支援センター（市直営）
による各圏域の総括・後方支援
すこやかセンター内（１階）

（各データはR4年4月現在）



南部地区地域包括支援センター　H31.４開所
エルセンター敷地内　委託先：社会福祉法人慈恵会

○南部地区（守山･小津）　人口　33,317人
○高齢者人口　6,420人　高齢化率19.3%
（前期：3,210人　後期：3,210人）
○要支援者数：313人　※事業対象者含む
○要介護者数：798人
○2025年における見込み
高齢化率19.6%
1人暮らし高齢者数　851人
高齢者のみ世帯数　2,124世帯
■３圏域中最も低い高齢化率であるが、1人暮らし、高齢者のみ世帯数が最も多い。駅前にはマンションが立ち並び、地縁の少なさが課題。また、要介護認定の主治医意見書より、認知症が原因で要介護状態となった人が多く、認知症施策の強化が必要。

R４年９月末時点
守山市人口 85,539人
高齢化率 22.1%
高齢者人口　18,915人
前期高齢者　9,256人
後期高齢者　9,659人

センターの人員体制

※令和４年９月末日現在

基幹型

◆所長（保健師）　◆係長（行政職）

◆事務員２人

計　22人

介護予防ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ

◆行政職１人
◆ケアプランナー
（看護師）１人
（社会福祉士）１人

在宅医療・介護連携推進事業

◆保健師２人（うち１人※）
◆主任介護支援専門員１人
◆事務員１人

センターの機能充実（地域ケア会議含む）

◆保健師２人

認知症総合支援事業

◆保健師１人
◆介護福祉士１人
◆看護師２人

圏域センターの後方支援

◆保健師３人　※
◆危機管理専門員１人

一般介護予防事業

◆保健師１人
◆理学療法士１人
◆言語聴覚士１人
◆補助員１人

（　※‥他の業務と兼務　）

南部

担当学区：守山、小津
人口：33,562人、
高齢者人口：6,444人、高齢化率：19.2％

◆所長（社会福祉士、主任介護支援専門員）

◆保健師１人
◆社会福祉士２人
◆介護支援専門員１人

計　5人

中部

担当学区：吉身、玉津
人口：21,905人、
高齢者人口：5,027人、高齢化率：22.9％

◆所長（社会福祉士、主任介護支援専門員）

◆保健師１人
◆社会福祉士１人
◆介護福祉士１人
◆社会福祉主事１人

計　5人

北部

担当学区：河西、速野、中洲
人口：30,072人、
高齢者人口：7,444人、高齢化率：24.8％

◆所長（主任介護支援専門員）

◆保健師１人
◆社会福祉士１人
◆看護師１人
◆介護支援専門員１人

計　5人

1　総合相談支援業務

重点

高齢者が住みなれた地域で安心してその人らしい暮らしができるよう、各圏域包括窓口においてワンストップの相談受付を行い、課題を整理し、地域のサービス、介護保険制度の利用支援および関係機関との連携を図っています。
また、相談内容により緊急性に応じた迅速な対応に努め、困難事例についても、圏域包括と基幹型が連携を図り、対応しています。
さらに、重層的支援体制として、複合的な課題がある事案において関係課との連携による支援に努めています。

【総合相談支援業務】　（市全体　相談件数：8,859件）

単位：件	項目	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
南部	相談延べ件数	5,655	5,419	2,568
高齢者人口 6,444人	うち緊急性が高いケース	1,600	833	190
中部	相談延べ件数	4,968	4,862	2,858
高齢者人口 5,027人	うち緊急性が高いケース	1,052	1,212	314
北部	相談延べ件数	5,346	6,739	3433
高齢者人口 7,444人	うち緊急性が高いケース	657	675	438

【主な相談案件】

- **こころとからだの健康に関する相談**
- 介護保険に関する問い合わせ
- **サービス利用についての相談、調整**
- サービス利用拒否・未導入の相談、調整
- **民生委員・児童委員、自治会からの相談**
- 権利擁護に関する相談
- 安否確認等の緊急支援
- 生活困窮高齢者に関する緊急支援
- 認知症高齢者等への対応
- 多頭飼育の問題
- 近所トラブル

【基幹型と圏域相互の相談・連携】

単位：件	項目	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
南部	相談延べ件数	1,186	520	218
中部	相談延べ件数	—	328	290
北部	相談延べ件数	595	613	311

【主な相談案件】

認知症の困難事案、行方不明事案、高齢者虐待、安否確認等の緊急支援・緊急搬送、警察対応、複合課題があり他課連携が必要な事案

高齢者人口の増加により、年々相談件数が増えています。“生活困窮家庭に働いていない子ども(成人)がいる”、“認知症の高齢者と精神疾患がある子(成人)が同居しており生活実態が不明”など、複合課題のある家庭への支援が増えています。また、認知症高齢者について病状の進行や環境変化により再度相談を受けるケース、精神疾患を抱えるケースが増えており、関係者連携の強化と高齢者のメンタルヘルスに取り組む必要があります。

2　権利擁護業務

自己の権利や援助のニーズを表明することが困難な高齢者への支援を行うために、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の利用についての相談や支援を行っています。
また、地域包括支援センターが高齢者虐待の通報を受理した場合は、高齢者虐待担当課（長寿政策課）へ報告し連携を図るなか、虐待が疑われる高齢者に対して速やかに状況確認を行い、介護支援専門員とともに介護サービスの調整や介護者の介護負担の軽減に努めています。

【権利擁護相談（成年後見制度･権利擁護事業の利用等にかかる相談）】（市全体　相談件数：275件）

単位：件	項目	令和２年	令和３年	令和４年９月末
南部	相談延べ件数	88	148	81
中部	相談延べ件数	176	131	67
北部	相談延べ件数	196	256	127

【虐待通報件数】（市全体　相談件数：20件）

単位：件	項目	令和２年	令和３年	令和４年９月末
南部	相談延べ件数	34	19	6
高齢者人口 6,444人	うち認定件数	17	11	2
中部	相談延べ件数	20	14	4
高齢者人口 5,027人	うち認定件数	14	7	4
北部	相談延べ件数	18	11	10
高齢者人口 7,444人	うち認定件数	7	5	4

・独居で身寄りがない、支援できる人がいない等の理由から、介護施設申込や金銭管理のために権利擁護の相談対応をする機会が増えています。

・高齢者虐待として通報を受け、事実確認の結果、虐待とは認定されなくても、緊急対応や不適切な介護、介護者の負担軽減が必要な場合は、継続的に支援を行っています。

・県の調査によると、被虐待者の半数が認知症またはその疑いのある人です。虐待防止の観点からも、認知症の正しい知識の普及や早期発見・早期対応に努める必要があります。

3　包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ支援業務

介護サービス等の利用支援を行う介護支援専門員等へのサポートを通じ、介護支援専門員の資質向上および高齢者への支援に努めています。

【ケースカンファレンスへの出席（圏域包括）】　（市全体　相談件数：77件）

単位：件	項目	令和２年	令和３年	令和４年９月末
南部	相談延べ件数	97	76	19
中部	相談延べ件数	37	54	23
北部	相談延べ件数	80	109	35

・今年度から居宅介護支援事業所の管理者に行政との情報共有や地域づくりに関わっていただくため、管理者向けの会議・研修会を開催しています。
・ケアマネジャー研修、管理者会議・研修会はオンラインと集合研修を同時に行うハイブリッド形式で行っています。

【ケアマネジャー研修の開催（基幹型）】

	項目	令和２年	令和３年	令和４年９月末
基幹型	回数（回）	6	5	3
	延べ参加者（人）	229	212	136
	１回あたり平均参加者（人）	38.2	42.4	45.3

新【居宅介護支援事業所管理者会議・研修会の開催（基幹型）】

	項目	令和４年９月末
基幹型	回数（回）	全３回予定(４・８・１月)
	延べ参加者（人）	62

【ケアマネジャーと関係機関との研修の開催（北部）】

	項目	令和２年	令和３年	令和４年９月末
北部	回数（回）	2	3	1
タイトル：「地域で支え合う」を考える勉強会	延べ参加者（人）	ケアマネ　17人 民生委員　39人	ケアマネ35人 民生委員43人 その他17人	ケアマネ11人 民生委員９人 その他４人

４　介護予防ケアマネジメント（基幹型）

総合事業事業対象者および要支援１・２と判定された人のケアマネジメントについては、今年度は全件居宅介護支援事業所へ委託し、基幹型センターの介護予防ケアプランナーがサービス担当者会議へ出席や、ケアプランの内容の確認を行うことで対象者の適切な介護予防サービスの提供に努めています。

【サービス担当者会議（基幹型）】

項目	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
サービス担当者会議出席	331件	328件	163件
書面開催等（プラン確認）	172件	220件	184件

【介護予防サービス計画作成（基幹型）】

項目	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
居宅介護支援事業所へ委託	7,220件	7,319件	3,868件
直営	59件	13件	０件

・新型コロナウイルス感染状況により、一部サービス担当者会議を書面開催されたため、出席数は減少しています。

・対象者が増えているため、介護予防サービス計画作成の居宅介護支援事業所への委託件数は増加傾向です。介護予防サービス計画作成は、介護度によりケアマネジャーが変更となることがないよう、要支援から居宅介護支援事業所への委託を推進しているため、直営によるケアマネジメントは減少しています。

5　在宅医療･介護連携推進事業

地域包括支援センター内に在宅医療・介護連携サポートセンターを設置し、退院時の支援、在宅での療養支援、急変時の対応や在宅看取り支援体制等の整備を進めています。在宅医療を支える多職種連携の構築に取組み、研修での意見交換等を通じて、支援機関による顔の見える関係づくりに努めています。

今年度は、昨年度改訂したエンディングノートを活用していただけるよう、もしバナカードを用いた出前講座を実施しています。また、地域医療介護マップの改訂、在宅療養・医療および在宅看取りに関する意識調査（10月）を実施し、これまでの取組の評価を行うとともに新たな課題の抽出、今後の取組の方向性について検討していきます。

【在宅医療･介護連携推進事業】　※在宅医療･介護連携サポートセンターで実施

事業名	事業内容	令和２年	令和３年	令和４年９月末
出前講座	医療･介護サービス、在宅看取り等に関する講話 エンディングノートについての講座	出動４回 延べ73人参加	出動３回 延べ23人参加	出動６回 延べ107人参加
守山顔の見える会	多職種、地域関係者を対象とした研修会（年６回） （コロナ禍でR2度以降グループワークなし。定員制）	２回開催 延べ48人参加 ※４回中止	３回開催 延べ112人参加 ※３回中止	３回開催 延べ151人参加 ※第３回オンライン併用
看取りケア研修会	在宅看取りをテーマとした研修会 （１日目：講話　２日目：事例検討） テーマ：在宅における緩和ケア･麻薬の取扱いについて	２回開催 延べ50人参加	２回開催 延べ44人参加	２回開催予定 定員30人
在宅医療･在宅看取り講演会	◆令和４年11月19日（土） 演題：落語で笑って学ぼう！人生笑顔で！笑ンディングノート～人生について考えてみませんか？～ 講師：生島　清身（行政書士･社会人落語家）	65人参加 ※感染症対策のため人数制限を設けて開催	188人参加 ※感染症対策のため事前予約制	定員300人 ※感染症対策のため事前予約制

新型コロナウイルスの感染状況により、研修はZOOMによるオンライン開催が参加者には好評です。今後、守山顔の見える会や看取りケア研修会においても、多職種連携につながるようなグループワーク、事例検討が実施できるよう、感染対策に配慮した手法の検討が必要です。

6 認知症総合支援事業①(認知症に関する普及啓発)

重点

「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の７つの柱に基づき、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進しました。また、地域全体で取り組む認知症「共生」・「予防」の推進を目指し、認知症に関する普及啓発、認知症の早期発見・早期支援、認知症高齢者や介護家族に対する支援に努めています。

【認知症サポーター養成講座】（H18～R3年 433回 延19,530人養成）

認知症に関する正しい知識の普及啓発のため、認知症サポーター養成講座等を開催しています。

単位：件	対象者	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
基幹	市内事業所、市民	９回開催 延べ303人参加	３回開催 延べ57人開催	1回開催 延べ10人開催
基幹（上級編）	中学校、市民	５回開催 延べ748人参加	６回開催 延べ870人参加	０回開催 延べ０人参加
南部	小学校、自治会等	６回開催 延べ445人参加	２回開催 延べ220人参加	１回開催 延べ11人参加
中部	小学校、自治会等	―	３回開催 延べ166人参加	４回開催 延べ212人参加
北部	小学校、自治会等	６回開催 延べ423人参加	12回開催 延べ436人参加	１回開催 延べ20人参加

子どもへの理解促進の推進に努めています。今年度は、市内の小学６年生、中学２年生に実施予定です。

【キャラバン・メイト】

キャラバン・メイトには、定例の連絡会や認知症サポーター養成講座等へ出動いただく他、個々の活動の中で認知症の正しい知識の普及啓発に努めていただきました。

	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末	備考
キャラバン・メイト連絡会 （基幹型）	４回開催 延べ44人参加 （実 17人）	６回開催 延べ45人参加 （実 19人）	６回開催 延べ53人参加 （実 17人）	圏域包括も参加
キャラバン・メイト出動状況	４回出動 延べ９人出動	10回出動 延べ36人出動	３回出動 延べ14人出動	認知症サポーター養成講座等

令和４年８月にキャラバンメイト養成研修を開催し、３名増員しました。

認知症総合支援事業②(認知症の早期発見・早期支援)

重点

【認知症初期集中支援チーム】 (市全体　対応人数：17人)

認知症が疑われる人やその家族に対し、専門職がチームを組んで訪問等を行い、包括的・集中的に受診や介護サービス導入などの初期の介入を実施しています。

単位：件	項目	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
南部	相談実人数	24	4	3
中部	相談実人数	25	22	8
北部	相談実人数	22	18	6

専門医やアドバイザーの助言・指導による認知症初期集中支援チームの活動強化を行っています。
初期集中支援チームの啓発活動として、地域支援者に向けたちらしを作成しました。

【もの忘れチェック】 (合計13回　延べ79人参加)

随時相談での対応以外に、介護予防教室やショッピングセンターで行う健康相談会の参加者に対し、タッチパネルと問診表を用いた簡易検査を行うことで、早期発見や認知症に関する啓発等を行っています。

	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末	対象者
基幹型 (圏域共同含む)	24回 68人実施	8回 87人実施	10回 76人実施	・介護予防教室・健康相談会・窓口相談・学区民の集い
南部	8回 8人実施	3回 3人実施	1回	・窓口相談、訪問 ・介護予防教室
中部	—	4回 16人実施	0回	
北部	1回 1人実施	5回 5人実施	2回 2人実施	

介護予防事業の体力測定時に、もの忘れチェックを実施することで、認知症予防の啓発につながりました。
認知症の疑いがある人を早期に発見し、必要な医療・介護サービスの利用を支援するため、通いの場などの地域へ働きかけを行っています。

認知症総合支援事業③
(認知症高齢者や介護家族に対する支援)

重点

【家族介護者訪問】

介護保険認定調査項目のうち、「徘徊」「介護への抵抗」にチェックが入るなど介護負担が特に大きいと考えられる認知症の人を介護する家族への訪問を実施し、困りごとの聞き取りや問題解決への支援を行うことで、介護負担の軽減、虐待の予防に取り組んでいます。

令和４年度分（８月末時点）	対象者（人）	支援方法（内訳）（人）				
		訪問	電話相談	窓口相談	訪問拒否、介護家族なし	未訪問（ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰへ聞き取りのみ）
南部	26	3	2	0	3	18
中部	23	6	10	2	2	3
北部	32	13	6	1	4	8
計	**81**	**22**	**18**	**3**	**9**	**29**

・介護負担の大きい介護者に対し、現在のストレス度や困りごとを聞き取り、ケアマネージャーと連携しながら負担軽減に努めています。また、介護者自身の健康への意識を聞き取り、必要な人には介護予防手帳を交付するなど、介護者に寄り添うことを心がけています。
・今後も、地域の支援者（民生委員・児童委員等）や居宅介護支援事業所などと連携を図り、介護負担の大きい介護者の把握に努め、サービスの利用支援・傾聴等により介護者の負担軽減に努めます。

認知症総合支援事業④
(認知症高齢者や介護家族に対する支援)

重点

【みまも～り～カフェ（認知症カフェ）】（合計16回　延べ253人参加）

高齢者およびその家族が気軽に参加でき、相談できる場として各圏域でみまも～り～♡カフェを開催しました。
また、市が自治会などのカフェやサロンを、「みまも～り～♡カフェ」（認知症カフェ）として認定し、継続的な運営の支援に努めました。

	カフェ名	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
基幹型	もりやまオレンジあったカフェ ※中部担当として開催	コロナにより中止	―	―
南部	お結びカフェ	コロナにより中止	６回開催 延べ62人参加 ※コロナにより５回中止	６回開催 延べ111人参加
中部	こもれびカフェ	―	令和４年３月開催 ４人参加	６回開催 延べ　44人参加
北部	オレンジカフェほっこり庵～絆	６回 ※コロナにより６回中止	７回開催 延べ98人参加 ※コロナにより４回中止	４回開催 延べ98人参加
地域における認定カフェ	（守山市認定） みまも～り～♡カフェ	13か所 ※南部７か所 中部４か所 北部２か所	13か所 ※南部７か所 中部４か所 北部２か所	12か所 ※南部６か所 中部４か所 北部２か所

・少人数・短時間など感染症対策に留意しながら、必要な人に参加勧奨を行い、高齢者の居場所や相談の場としての運営に努めています。
・今後、認知症の人や家族への支援に賛同いただける自治会カフェ等を増やし、居場所づくり・相談対応等、認知症の人や家族への支援を強化する必要があります。

認知症総合支援事業⑤
(認知症高齢者や介護家族に対する支援)

重点

【行方不明高齢者等ＳＯＳネットワーク】

市内を業務区域とするバス・タクシー会社、郵便局、コンビニエンスストア、介護事業所等に協力いただき、見守り支援を行っています。
また、情報を事前に登録いただき、警察、消防等と情報共有することで、早期対応・早期発見に向けた連携の強化を図っています。

	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末	備考（令和４年９月末内訳）
行方不明高齢者等 発生状況	延べ20件、実20人 （延べ９件対応、 延べ11件事後報告）	延べ29件、実23人 (延べ13件対応 延べ16件事後報告)	延べ11件、実10人 (延べ６件対応 延べ５件事後報告)	南部５件、中部５件、北部１件 ＜状況内訳＞ 行方不明時ＧＰＳ利用　１件 アイロン名札配布済み　０件 発生時事前登録済み　６件 行方不明後の登録　５件
発見状況	市内15件 市外５件	市内23件 市外６件	市内８件 市外３件	警察２件、地域住民３件、家族・親族３件、自力帰宅１件、その他２件
ＳＯＳネットワーク配信	２件	３件	３件	安全・安心メール１件
安全・安心メール登録者数	約7,000件	約9,500件	約9,800件	登録者へ行方不明高齢者等情報を配信
行方不明高齢者等 ＳＯＳネットワーク協力機関数	63事業所	64事業所	67事業所	コープしが配送センター、まごころ弁当、フードバンクびわ湖
行方不明高齢者等 ＳＯＳネットワーク事前登録者数	39人 （累計80人）	55人 (累計135人)	32人 (累計167人)	男性　18人、女性　14人 うち、行方不明歴あり　10人 介護認定あり　29人

介護支援専門員や医療機関等の登録勧奨でSOSネットワーク事前登録者が増加しています。今年度は、新たに協力機関として３事業所に登録をしていただきました。行方不明発生時の早期発見と保護に向けて、引き続きSOSネットワーク事業の周知啓発に努めます。さらに、令和４年８月から認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を創設し、認知症高齢者やそのご家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりの推進に努めました。

7　地域ケア会議推進事業

個別事例に共通する地域課題を整理し、見出された地域課題の解決に向けた対応策を検討するため、地域ケア会議を開催しています。

	項目	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末	見出された地域課題等（令和４年度内訳）
基幹型	地域ケア推進会議	２回開催	２回開催	１回開催	・男性介護者が話をできる場の設置や、生活支援体制整備事業の進捗状況の周知について等、提案や意見をいただいた。 ＜個別会議から＞ ・認知症になっても暮らし続けられるまちづくりの推進が必要。 ・判断能力が低い人には、本人の判断能力等をアセスメントした上で、支援チームによる介入、共決定が必要。 ・特定の支援者に負担がかかりすぎないような支援体制の構築が必要。
	地域ケア個別会議（定期開催）	４回開催 12事例	３回開催 ９事例	２回開催 ４事例	
南部	地域ケア個別会議（随時開催）	１回開催 １事例	10回開催 10事例	１回開催 １事例	・地域生活を送る上での課題解決に向けての課題整理が必要
中部	地域ケア個別会議（随時開催）	―	１回開催 １事例	４回開催 ２事例	・多頭飼育、複合的な課題への支援体制の構築が必要等
北部	地域ケア個別会議（随時開催）	１回開催 １事例	１回開催 １事例	３回開催 ３事例	・認知症の人やその家族への見守りについて、特定の支援者の負担軽減、介護者が亡くなった後の支援方法についての検討が必要等

・高齢者数の増加により、独居や高齢夫婦世帯、認知症の人が増加し、複数の課題を抱えている家庭や、課題の解決が難しいケースが増加しています。
・令和４年度は、生活支援体制整備事業との情報共有、関係課の個別会議招集など、施策等の検討へつながるよう取り組んでいます。

8　一般介護予防事業①

重点

高齢者等が自主的に介護予防に取組めるよう、出前講座での知識や情報の提供や、生活機能の維持向上を目的とした介護予防教室を開催しています。

【出前講座】　（合計73回　延べ1,536人参加）

地区会館や自治会館等で実施されるサロン等に講師（医療・介護専門職）を派遣し、介護予防、認知症、高齢者虐待等に関する知識の普及啓発を行っています。

	対象者	主な内容	令和２年度	令和３年度	令和４年 ９月末
基幹型	市全域、通いの場等	介護予防・健康づくり、在宅医療・介護、認知症サポーター養成講座、物忘れチェック、権利擁護・虐待等 ※認知症サポーター養成講座は再掲（P.10参照）	14回開催 延べ293人参加	18回開催 延べ1,058人参加	27回開催 延べ382人参加
南部	各圏域の自治会、団体等		19回開催 延べ758人参加	16回開催 延べ574人参加	11回開催 延べ273人参加
中部			17回開催 延べ488人参加	15回開催 延べ395人参加	14回開催 延べ443人参加
北部			21回開催 延べ735人参加	25回開催 延べ633人参加	21回開催 延べ438人参加

・基幹包括では、新型コロナウイルス感染症予防の出前講座を実施し、通いの場の再開へ向けた取組を推進しました。
・自宅や少人数での介護予防を推進するため、令和２年12月から守山プラス体操（ＤＶＤ、市公式ＹｏｕＴｕｂｅ）や屋外におけるウォーキングなど、運動の周知啓発に努めています。

一般介護予防事業②

重点

【各圏域地域包括支援センター主催による介護予防教室】

居場所づくりや通いの場への参加のきっかけとなるよう、各圏域地域包括支援センターで介護予防教室を行っています。
各日常生活圏域の特色に合わせて、内容を工夫しています。

	教室名	内容	令和２年度	令和３年度	令和４年９月末
南部	Let'sトライ８	「無理なく」「楽しく」一緒に体を動かすきっかけづくりとして、体操、脳トレ、体力測定などを実施。	８回開催 実10人参加 延べ75人参加	８回開催 実12人参加 延べ69人参加	８回開催予定 (11/10～12/22)
中部	今日からできるフレイル予防	「栄養」、「口腔ケア」、「認知機能向上」、「運動」、「社会参加」をテーマに様々な専門職の講義やAIによる歩行分析などを実施。	―	令和４年１月～２月に５回開催予定だったが、１回目のみ開催 実17名	５回開催 (現在開催中) 9/8～10/22 実11名参加 延べ22人参加
北部	ワンステップチャレンジ教室	守山いきいき百歳体操やもりやまプラス体操、脳トレ、AIによる歩行分析などを実施。	８回開催 実10人参加 延べ62人参加	8回開催 実10人参加 延べ47人参加	５回開催 6/2～6/30 実15人参加 延べ93人参加

・南部地区、北部地区地域包括センターでは、体操を継続することの重要性の説明や、脳トレの紹介などを行い、通いの場への参加勧奨を実施しています。
・中部地区地域包括支援センターでは、フレイル予防に必要な知識を習得できるよう様々な講師を招き、健康教育を実施しています。
・今後も地域の特色に合わせた介護予防教室を開催します。

【ﾜﾝｽﾃｯﾌﾟ ﾁｬﾚﾝｼﾞ 教室】（北部）

一般介護予防事業③

重点

【基幹型地域包括支援センター主催による介護予防教室】

介護予防に取り組む市民の増加や、通いの場の立ち上げ支援を通じて、介護予防に取り組むきっかけづくりに努めています。

＜新65歳からの過ごし方教室＞

教室名	参加対象者	令和４年９月末	内容
65歳からの過ごし方教室	介護予防に興味がある65歳以上の人	5回×３会場（計15回） 守山会館　実11人 すこやかセンター　実22人 中洲会館　実7人	介護予防について幅広く周知（フレイル予防、エンディングノート等）

＜守山百歳体操＞

教室名	参加対象者	令和２年度	令和３年度	令和４年９月末
いきいき+トレーニング	令和元年・２年度：65歳以上の市民 令和３・４年度：自治会単位	24回開催 （12×２教室） 延べ239人参加 実22人参加	実施希望自治会を募集したが、応募なし	３回開催 (弥生の里、笠原、梅田)

＜守山健康のび体操＞

教室名	参加対象者	令和２年度	令和３年度	令和４年９月末
健康のび体操教室	教室終了後、既存の自主グループ活動に参加する人、または新規に自主グループを運営する人	11回開催 延べ94人参加 実11人参加	８回開催 延べ61人参加 実15人参加	10回開催 延べ65人参加 実15人参加

【通いの場の活動支援】（合計：97グループ　目標：105グループ）

地域の身近な場所で継続して介護予防に取り組めるよう、年１回の体力測定や必要時の健康教育を実施しています。

単位：グループ	令和２年度	令和３年度	令和４年９月末
守山百歳体操	68	73	75
守山健康のび体操	17	21	22

・今年度から65歳からの過ごし方教室を開始し、介護予防について広く周知しました。
・守山健康のび体操は、教室終了後に通いの場の活動に繋がることが多く、通いの場の増加に繋がっています。

９　保健事業と介護予防の一体的実施事業

令和３年度より、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの事業を受託し、保健担当のすこやか生活課管理栄養士と、企画担当の地域包括支援センター保健師、介護予防担当の保健師・言語聴覚士等が中心に、保険事業と介護予防を一体的に実施することで、高齢者の健康づくり、介護予防に努めています。

【基幹型地域包括支援センター主催事業】

訪問活動や健康相談会等を実施し、健診後の受診勧奨や健康状態の把握に努めています。訪問活動や健康相談会については、圏域地域包括支援センターと連携して実施しています。

	対象者	内容	令和３年度	令和４年９月末
健康状態未把握者へのアプローチ（訪問・電話）	健診受診や医療受診、介護認定がない者	医療や適切なサービス、通いの場を紹介し、その後の状況確認を行う。	327人通知 電話・訪問108人 (中部45人、北部49人、南部36人)	112人 電話・訪問　南部43人

	対象者	内容	令和３年度	令和４年９月末
健康相談会	主に65歳以上の高齢者	健康相談において、フレイルリスクのある者を早期発見し、必要なサービスにつなげる。	速野会館、ららぽ、平和堂 3か所：74人	中洲　16人 アルプラザ守山　23人

	対象者	内容	令和３年度	令和４年９月末
体力測定	通いの場に参加する65歳以上高齢者	通いの場において、フレイルリスクのある者を早期に発見し、健康教育を実施する。	体力測定30G、結果返し16G 体操指導２G 立上げ（百６G,のび４G）	体力測定13G 結果返し 5G 立上げ（百歳体操 3G）

・医療受診が必要と判断される高齢者への受診支援対策や、広く健康や介護予防に関する出前講座・健康相談会等を実施しています。

10　任意事業･その他事業

【家族介護者教室】　（合計５回　延べ61人）

家族介護者の介護負担が心身ともに軽減されるよう、介護をしている人や介護に関心のある市民を対象に、介護の知識や技術の習得および情報共有や情報交換の場として、家族介護者教室を開催しています。

	主な内容	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
基幹型	・認知症について ・介護技術、福祉用具の選び方 ・介護者のためのリラクゼーション教室 等	延べ62人参加	―	―
南部		延べ35人参加	延べ48人参加（全５回）	延べ61人参加（全５回）
中部		―	延べ22人参加（全２回）	５回開催予定(１～３月)
北部		延べ104人参加	延べ78人参加（全５回）	４回開催予定（10月）

感染症対策に留意しながら対面による家族介護者教室を開催しています。
排泄介助については、家族介護者の多くが悩むところでもあり、オムツ交換の仕方について参加者から質問があるなど、実際の介護技術について学ぶ機会となっています。

【その他】

圏域独自の取り組みとして、身近な地域で相談できる体制の整備に努めています。

	教室名	内容	令和２年	令和３年	令和４年 ９月末
南部	小津介護なんでも相談会	出張相談	２回延べ２人参加	２回　延べ１人参加	―
	いきいきプロジェクトIN小津	体操、脳トレ等	―	２回　延べ17人参加	３回(1クール) 開催予定(1月)